



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館

学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

ちきゅう せいめい みなもと きよだい たいよう かんさつ 地球の生命の源、巨大な「太陽」を観察してみました。

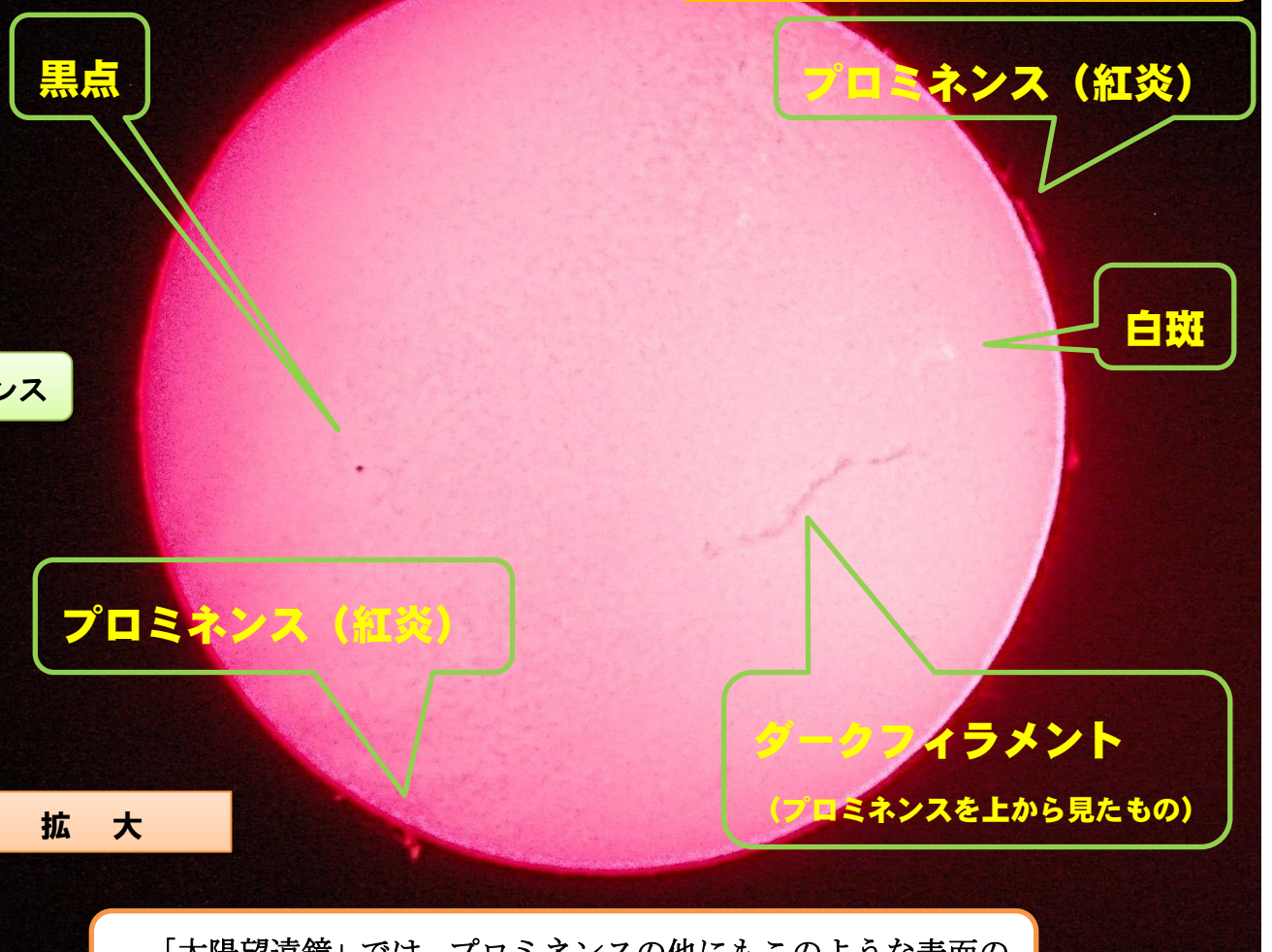
「太陽」の観察では、大変危険なので肉眼や望遠鏡などで直接太陽を見てはいけません。しかし、専用の「太陽望遠鏡」や「天体望遠鏡の投影板」を使用して観察すると、太陽も「活着ている」ことがわかります。太陽の活動の変化で、地球の気候が大きく変動するなど影響を受けます。

太陽望遠鏡で見た太陽表面のようす (11月26日)

太陽の直径は、地球の約109倍！



プロミネンス



黒点

プロミネンス (紅炎)

白斑

プロミネンス (紅炎)

ダークフィラメント

(プロミネンスを上から見たもの)

拡大

太陽観察用の特殊な望遠鏡「太陽望遠鏡」で太陽を見ると、このように「プロミネンス」が見えます。

「太陽望遠鏡」では、プロミネンスの他にもこのような表面の様子を観察することができ、写真に撮ることも可能です。

「プロミネンス」周辺の拡大。よく見るといろいろな模様が見えます。

太陽投影板に写して見た太陽とその主な黒点 (○部分)



「太陽望遠鏡」。水素が出すH α 線(光)のみ透過させるので、太陽を直接見ることができます。



11/12

天体望遠鏡に太陽投影板をつけると、小さな影が・・・それが黒点です。11/12



11/26

黒点の数や場所は日々変化します。太陽自身が自転している証拠の1つです。11/26



太陽は、直接自分の目や望遠鏡、双眼鏡などで絶対に見ないでね！

投影板

「天体望遠鏡」では、太陽を投影板に映して見ます。